

# 七夕初参加者用資料 用意するもの R6 版

※値段はその年の物価により変動する場合があります

## 【竹籠 (くす玉の芯) ・曲げ輪 (くす玉の下に吊って吹き流しをつける輪っか)】 (マルイチ壹岐)

- ・竹籠は 1,600 円ぐらいから。曲げ輪は 400 円ぐらいから。サイズによって異なります。  
竹籠が 8 号なら曲げ輪は 10 号など、曲げ輪のほうがひと回り大きくなるようにするときれいです。

## 【吹き流し】

### 内側用

- 5cm×3m 10 本束 300 円(マルイチ壹岐)
- 10cm×3m10 本束 600 円(マルイチ壹岐)
  - ・色は白、黄緑、赤紫、黄土色？(オレンジっぽい茶色っぽい薄い色)があります。
  - ・荒町では吹き流しの長さを 150cm にしているので、これを半分に切って使います。
- 4cm×3m 10 枚セット 352 円(パッケージプラザ)

### 外側用

- 10cm×80cm 1 枚 30 円～80 円 ※柄によって違います。(マルイチ壹岐)
  - ・無地タイプと柄タイプを縦に繋げて、上下で柄が切り替わるデザインに使うのが一般的です。2 枚継ぎ合わせると 160cm に少し足りないぐらいの長さになるので、全部継ぎ合わせた後に、内側用の吹き流しと重ねて同じ長さに揃えてから貼り付けます。デザインによっては上から下まで同じ色柄で揃えるのもあります。
- 8cm×1.5m 12 枚セット 440 円(キクチ)
  - ・無地に金箔が散らしてある厚手の和紙の吹き流し用紙です。
  - ・荒町七夕サイズだと、切り貼りせずにそのまま使えます。
  - ・カラーバリエーションが豊富ですが、同色の 12 枚セットなので、バラ売りをしてもらえるものなのかどうかは未確認です。
- 12cm×75cm 1 枚 128 円～231 円。(パッケージプラザ)
  - ・バラ売り可能。無地に近いものだと赤、ピンク、緑、黄緑、オレンジ、水色(残りわずか)
  - ・荒町サイズだと、幅を半分にして上下に 2 枚継ぐと丁度良いサイズになります。

## 【おはながみ】

- 耐水タイプ 100 枚 940 円(パッケージプラザ)
    - ・通常タイプより厚手で色落ちしにくいので再利用可能。
- 枚数を減らしてもボリュームが出ますが、端をギザギザに切ったりする際に握力が必要です。
- 通常タイプ 500 枚 400 円ぐらい(店によって値段が違うようです)

## 【他、材料として必要なもの】

- 大きめの和紙と、それに合いそうな色の帯状の紙(紙衣、巾着)
  - ・丈夫で見栄えの良いものならなんでも良いので安く済ませることも可能。

## ●正方形の大きな紙(投網、屑籠)

・不織布がおすすめ。屑籠の中に入れる用に、お花は余分に作っておくとよい。

## ●折り紙(折り鶴)

・折り鶴をチェーン状に連ねて吹き流しの代わりに吊るのであれば、数も要りますし、ストローや凧糸も必要になります(手間と予算があれば、レインボーやグラデーションを表現するにはこれが最適です)。

・鶴を吹き流しに貼る、もしくは鶴を単体で飾りのどこかに吊るす等でも審査基準には合格なので、この方法だと、折り鶴の数を節約できます。この場合、小さいと遠目に折り鶴とわかりにくいので、可能であれば大きめがお勧めです。(審査基準については参加要項で案内します)

## ●短冊用紙

・組合から 20 枚程度提供できます。購入する場合は、七夕用品を扱っている店で 100 枚 400 円ぐらいで買えます。

## ●ホッチキス、木工用ボンド

・荒町の七夕は毎年集中豪雨に当たるので、紙を継いだり、吹き流しに飾りを貼りつけたりする際には、濡れても大丈夫な接着方法で作ってください。

**※屋外の公道に3日間設置することを考慮して落下などによる被害が出ないように十分注意してください。**

**水性の塗料・染料の使用は雨天時に竹揚げ係や通行人の服などを汚損するので NG!**

## ●おはながみを束ねる針金

・キクチ文具では 100 本 143 円。

同様のものがパッケージプラザやマルイチ壱岐でも購入できます。

## 【毎年参加するなら持っておくと好ましいもの】

### ●枝切りバサミ、竹用のこぎり

・竹を配る際にある程度のお手伝いはできますが、余分な枝を落としたり、長すぎる竹の長さを調整したりする作業も基本的に参加者各自で行っていただくので、持っていると便利です。

・いずれもホームセンターなどで 2,000 円~3,000 円程度で入手可能で、組合からも貸し出しできます。

### ●滑車 (セミブルック)

・「従来型」飾りのくす玉部分に使用することで、強風が出てきたり、雨の重みで垂れてきたときなどに、安全かつ速やかに撤収することができます。

・小型で軽いくす玉であれば、必ずしも滑車を付けなくても竹に直接括ったまま揚げることは可能だが、**濡れたら重くなったり、強風で落ちる可能性のあるもの、会期中持ち主が近くで見張ることが困難な場合は滑車を使うことが望ましい。**

・ホームセンターなどで 1 個 500 円前後で入手可能で、初参加の方には組合から貸し出しもできます。

### ●「花子ちゃん」(合鹿製紙製の折り花製造機)

・おはながみの蛇腹折りが一瞬のできるので作業時間の短縮になります。

・文具屋やオフィス用品店、インターネット通販で入手可能。価格は店により 6,000 円台~7,000 円台程。

### ●金剛打ち綿ロープ

・滑車用のロープ。太さ 6 mm~8 mm。竹の根本から滑車の取り付け位置までの長さ×2で、必要本数をとれる長さで用意する。

・ホームセンターで 30m一巻につき 2,000 円~3,000 円程度で入手可能。

**竹揚げに使う PP ロープは滑車に使うと繊維が切れて絡まりやすいので不可。必ず綿ロープで!**

## 【夜も楽しめる仕様にすれば】

### ●イルミネーションライト

- ・インターネット通販や100円ショップでも入手可能。屋外用で電池式のものが好ましい。
- ・屑籠、巾着、投網の中に入れて時に絡まらない形状のものが便利。

## 【他、あると使えるもの】

### ●業務用不織布風呂敷(ネットで検索すると何種類か出てきます)

・四角く切っておはながみに使うと耐水おはながみよりも更にコシが強く、濡れても萎んだり重くなったりしません。細長く切って吹き流しに使うと軽すぎて風が吹いた時に全部捲れ上がってしまいますし、色味がぼんやりしたものが多いため、吹き流しに使う場合は内側用にするのがおすすめです。投網や屑籠には正方形のまま使えて、和紙のような風合いで透け感のあるキレイな感じになります。

### ●紙袋、包装紙

・素材が丈夫で七夕に適しているため、お客様からの差し入れやお土産などの頂き物についてくる紙袋や包装紙は捨てずにとっておきましょう。七夕飾り用の紙代を節約できます。

紙袋は、持ち手部分と袋の形をそのまま活かして巾着に加工できますし、おしゃれな柄の包装紙は着物に使うと映えます。

・ラッピング用の不織布は、パッケージプラザでも手に入りますし、荒町のマルソーさんから買うこともできます。

・商売上出てくる廃棄物を捨てずにとっておいて材料に使うというアイデアもあります。(靴屋→靴箱で行灯、梱包用の薄紙をおはながみに。呉服屋→たとう紙で吹き流しや紙衣を作る。etc.)

### ●障子紙

- ・吹き流しに使うとサイズ感がちょうど良く、雨にも強い。
- ・箱状の枠にライトを仕込んで外側に貼れば行灯になる。

**※色をつける場合は水で溶けない染料を使ってください。(雨天時に竹揚げ係や通行人の服を汚損します)**

## 【材料を購入できる店舗】

### キクチ

[http://www.kk-kikuchi.com/tanabata\\_materials.html](http://www.kk-kikuchi.com/tanabata_materials.html)

竹籠、曲げ輪、吹き流しなどが購入できます



### パッケージプラザ宮千代店

<https://shimajima.jp/shop/store/storedetail.aspx?store=665031>

竹籠、曲げ輪、耐水おはながみ、お花用針金、12cm幅吹き流しなどはこちらから購入できます



### 巻岐

<https://sendai-tanabata.net/decoration/>

9cm幅吹き流しはこちらから購入しております。竹籠、竹輪もあります

